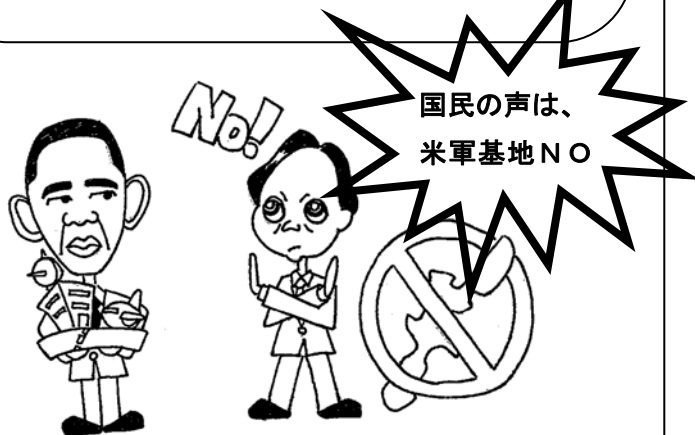


辺野古の新基地建設反対！

普天間基地は無条件撤去を！

普天間基地問題の発端とは？！

95年の海兵隊による少女暴行事件をきっかけに「基地のない沖縄」を求める県民の声が爆発。日米両政府は96年4月、普天間基地の全面返還を発表。しかし、同年12月のSACO合意で県内に代替施設をつくることを条件としました。これが「普天間基地問題」の発端です。



鳩山首相、民意は、

「辺野古移設NO！ 米軍基地NO！」です

米軍基地の「国外、県外移設」は、沖縄県民の切実な願いであり、日本国民の声です。政府は、アメリカに対し、「辺野古移設NO」、「米軍基地NO」というべきです。

名護市長選 稲嶺氏 当選

政府は民意を受けて基地撤去を！！

2010年1月24日投票で行われた名護市長選で、辺野古への新基地建設に反対する稲嶺ススム氏が現職を破り当選しました。

沖縄県と名護の民意が辺野古受け入れ反対・基地撤去にあることは明白です。

普天間基地は市街地に囲まれた

“世界一危険な基地”

普天間基地は、人口約9万2000人の宜野湾市の真ん中に居座る、アメリカ海兵隊ヘリコプター部隊の基地です。

アメリカの基地安全基準にも違反。アメリカでは居住できない基地隣接地区(クリアゾーン)に普天間では小学校や保育所、病院など18施設があり、3600人の住民が暮らしています。

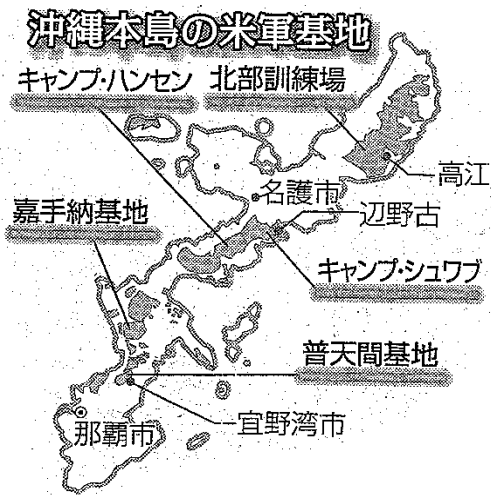
年間の推定離着陸回数は4万5000回以上、騒音発生回数は2万回以上。2004年8月には、普天間基地所属のCH53D大型ヘリが沖縄国際大学本館に墜落する事故も発生しています。

周辺住民は、早朝夜間に関係なく住宅地の上を飛び回る米軍機の爆音や墜落の危険にさらされています。



人口密集地に位置する“世界一危険な基地”

なくそう！沖縄の基地を！県民の被害を！



基地のない沖縄を！

沖縄県民の切実な願いの実現を！！

沖縄は、太平洋戦争で地上戦の戦場とされ、戦後はアメリカ軍の銃剣とブルドーザーによって豊かな県土が奪われました。

今なお、国土面積の0.6%にすぎない小さな島に全国の米軍専用施設の75%が集中。米軍基地は県土の10.2%、本島の18.4%を占め、米軍犯罪や墜落事故が発生し、経済発展にも大きな影響を与えています。

基地撤去は沖縄の県民の切なる願いです。

普天間基地を即時撤去し、 辺野古新基地建設を断念せよ！

美ら海を守ろう！

移転先とされる辺野古の海域は、沖縄県が自然環境保全に関する指針で評価ランクIに指定している県民の「宝の海」です。



国の天然記念物であるジュゴンや珊瑚の生息する美しい海です。IUCNの絶滅危惧種リストのアオサンゴの群落も発見されています。

海兵隊は「抑止力」にはありません

日米安保条約6条は、在日米軍基地の提供を、日本国の安全と極東における国際平和及び安全に寄与するためであるとしています。

しかし、ベトナム、イラク、アフガニスタンへの派兵を繰り返してきた沖縄の海兵隊は、日本の平和のための「抑止力」ではなく、世界への殴り込みを任務とする「侵略力」です。海兵隊への基地提供を拒否することこそ世界平和への貢献です。

Let's Go!! イラク! アフガン!

NG!



新基地は必要ありません

アメリカの資料では、海兵隊は司令部だけでなく普天間基地のヘリ部隊を含む主要部隊が一体でグアムに移転する計画です。辺野古への新基地建設はそもそも必要ありません。